大阪市老人クラブ徽章

全国３大運動
健康・友愛・奉仕をめざして
市内全会員に配布

月刊 大老連

平成25年　７月号
第660号　毎月１日発行
平成25年（2013年）７月１日
定価30円（送料別）　年間購読料1,100円（送料共）
購読お申し込みは、月刊大老連編集室にご連絡ください。

昭和33年９月19日第三種郵便物認可
〒556―0017
大阪市浪速区湊町１－４－１
ＯＣＡＴビル
発行所　一般社団法人
大阪市老人クラブ連合会
編集室　電　話 06(6635)3227
ＦＡＸ 06(6635)3229

大老連定時総会を開催

事業報告・収支決算など承認

大阪市老人クラブ連合会の定時総会が5月30日（木）、中央区の市立中央区民センターにおいて開催され、新たに大老連の理事及び監事が選任されるとともに、引き続き、平成24年度事業報告・収支決算、公益目的支出計画実施報告書の審議が行われ、全会一致で承認されました。

開会のあいさつをする中保昌理事長

総会は原田壽総務部会長の進行で始まり、代議員定数96名中、出席者81名、書面表決10名の合計91名で過半数に達したので成立しました。

まず、中保昌理事長の開会あいさつ、大阪市福祉局久保直也高齢者施策部長のあいさつがありました。続いて、大会役員の選出について、司会者一任により議長に港区の中野憲雄代議員、大正区の稲生實子代議員、議事録署名人に中央区の中村隆介代議員、西区の吉田安雄代議員が指名され、議事に入りました。

第1号議案の理事及び監事の選任について、鷺島勝事務局長から理事22名、監事2名の紹介があり、全会一致で選任されました。

第2号議案の平成24年度事業報告について鷺島勝事務局長から、第3号議案の平成24年度収支決算、第4号議案の公益目的支出計画実施報告書については中路晃事務局次長から説明があり、それぞれ審議が行われ、全会一致で承認されました。

新役員の紹介のあと、最後に、石井好男副理事長の閉会のあいさつで総会を終了しました。

平成24年度事業報告の概要

国内外の諸情勢は大きく揺れ動いており、社会経済情勢も大きく変化しつつある中で、わが国の人口の高齢化は出生率の低下と相まって加速しており、大阪市においても、新たな大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画では65歳以上の高齢化率は22・5％となり高齢化がますます進行して、とりわけ、65歳以上の人がいる世帯のうち、高齢者のひとり暮らし世帯の比率は41・1％であり、全国平均の24・8％に比べると非常に高くなっております。

このような状況の中で、高齢社会をより豊かで充実したものにするためには、高齢者自らもこれらの問題意識を高め、生きがいと健康づくりに努めるとともに、多年にわたる経験や知識を生かして、積極的な地域活動に参画していくことが極めて大切であり、老人クラブの果たす役割はますます大きく、その重要性が増してきております。

平成24年度においては、大老連では、老人クラブ活動の原点に立って、全老連が提唱する老人クラブ21世紀プランに沿って、「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動を基本において さまざまな活動に取り組んできました。

中でも、「高齢者の健康ウォーキング事業」を継続実施するとともに、全老連の助成事業として新たに「チャレンジ！地域の元気づくり事業」に取り組むほか、毎年開催となったグラウンド・ゴルフ大会や、ペタンク大会のスポーツ事業などの健康づくり活動を積極的に進めてきました。

また、ねたきり高齢者の友愛訪問や生活モニター活動としての学習会の開催、友愛募金運動の推進などの友愛活動、そして、9月20日の全国一斉社会奉仕の日や環境美化・リサイクル活動の取り組みあるいは子ども見守り活動などの奉仕活動、さらには、大老連として初めて取り組む友愛募金運動推進カラオケ大会の開催などの多様な活動を精力的に行ってきました。

そのような中で、今後の老人クラブ発展をめざすためには、その活動を担う指導者、リーダーの養成が最も重要であり、老人クラブ指導者・女性部指導者を対象とした合同研修会の開催をはじめ、女性部リーダー研修では、防災施設見学や今日的なテーマを取り上げての研修を行うほか、4年目となる「健康づくり推進リーダー養成講座」を開設するなど、幅広い人材養成、リーダー養成に努めてきたところです。

一方、大阪市高齢者福祉大会などの大阪市や大阪市社会福祉協議会との事業共催をはじめ、各区老人福祉センターを拠点として活動している区老連活動とも緊密な連携を図りながら、近畿老人クラブ連絡協議会及び全国老人クラブ連合会の実施する近畿ブロック老人クラブリーダー研修会や全老連創立50周年記念全国老人クラブ大会などの各種研修会等を活用して、広い視野に立って積極的で活発な活動を展開してきました。

大老連としては、地域の高齢者を代表する組織として、高齢者が活力を持って明るく豊かな長寿社会となるよう人生の充実と長寿を喜び合える社会づくりを進めてきたところです。

第８回 大老連グラウンド・ゴルフ大会

団体 **此花区老連** 優勝　個人 **森本さん**（天王寺区）

大老連主催の第8回グラウンド・ゴルフ大会が、好天にも恵まれ、6月5日（水）、大阪城公園太陽の広場グラウンドで、24区から144名が参加して開催されました。

野口一郎副理事長の開会宣言のあと、中保昌理事長から「本大会は高齢者の健康と生きがいづくりの一環として開催するものですが、この機会に参加者同士の親睦と交流も大いに図ってほしい」とあいさつがあり、続いて、大阪市福祉局久保直也高齢者施策部長からは「大阪市では、今後とも高齢者の生きがい施策を推進してまいります。本日は、皆さんの方には、日頃の練習の成果を大いに発揮していただくことはもちろんですが、お互いの交流交歓も図っていただきたい」との心強い祝辞がありました。

西成区の田中弘武さんが元気よく選手宣誓し、中理事長と久保部長による始球式のあと、競技がスタートしました。競技は、15m、25m、30m、50mを各2本、計8ホールを3ラウンド、合計24ホールで行われ、強い陽射しの中、参加者は元気一杯にプレーし、広いグラウンドに、カーン、カーンと軽快な音が鳴り響き、会場のムードは盛り上がり、終始熱戦が繰り広げられました。

お昼前には競技が終了し、午後1時から閉会式を行い、成績発表、表彰の後、石井好男副理事長から「天候にも恵まれ、熱戦の中にも親睦も大いに深められ、有意義な大会となりました」との閉会のあいさつがあり、大会を無事に終了しました。

❶開会あいさつをする中保昌理事長
❷西成区の田中弘武さんが選手宣誓
❸団体優勝の此花区老連チーム
❹白熱した試合が繰り広げられた

成績は次のとおりです。

【団体】▽優勝＝此花区老連（374打）▽準優勝＝北区老連（389打）▽3位＝天王寺区老連（393打）

【個人】▽優勝＝天王寺区・森本勝さん（56打）▽準優勝＝都島区・宇都宮輝夫さん（58打）▽3位＝北区・佐藤勉さん（60打）▽4位＝此花区・片山延子さん（60打）▽5位＝北区・佐藤蒔子さん（60打）▽6位＝都島区・漆崎鉄雄さん（60打）▽7位＝住之江区・岸上史郎さん（60打）▽8位＝住吉区・山田富三さん（60打）▽9位＝此花区・古賀ヨシエさん（60打）10位＝此花区・比嘉清孝さん（61打）

随意随想

残されし物の価値

大阪ソーシャルワーカー協会会長　**大塚　保信**

大阪城といえば、太閤秀吉の居城として全国に知られている。しかし大阪市民としてはいささか複雑な心境ではあるが、関ヶ原の合戦以降、明治時代が始まるまで長きにわたり支配してきたのは徳川幕府である。大阪城が本当に大阪市民の手に戻ったのは、わずか半年間で目標額の150万円（現在の金額で600億円から700億円に相当）集まった市民の寄付によって昭和6年に竣工された現在の天守閣であろう。

ところで、いまも大阪城天守閣の入口左手に「残念石」と銘うった大きな二つの石が置かれているのをご存知だろうか。残念石というのは、徳川幕府の命令で元和6（1620）年から始まった大阪城修復のとき、石垣などの用材石として割りだされたが、使われることなく残念ながらその念願が叶わなかった石のことである。向かって右側にある大きめの石が筑前黒田長政の石切丁場で見つかり、左側が豊前細川忠興の残念石である。当時の大阪城の修復は徳川幕府が西日本の64藩の大名に命じて築かせたが、修理で撤去された石を含み数万個も見つかっているそうである。ほとんどの石には担当大名の家紋が刻み込まれており、大阪城のふもとに一部展示されているからお気付きの方もおられよう。大阪城の再築、修理の時には廃城になった京都伏見城の城石を再利用するため、淀川を下って運んでいる。ところが運搬船から多くの石が転落した。それらの石にも大名家の家紋が刻印されていて、これもまた残念石として毛間の閘門（けまのこうもん）の一角に保存展示されている。

毛間は大阪市都島区の淀川河川に位置する地域で、この地で「春風や、堤（つつみ）長うして、家遠し」と詠んだ俳人、与謝蕪村の生誕地でもある。閘門とは、水位の異なる二つの河川の高低差を調整して船を安全に通過させるための施設である。京都の南禅寺近くにあるインクラインもよく似た役割をもった施設である。琵琶湖に源を発する淀川は大雨でたびたび氾濫し、その影響で桜ノ宮や中之島といった大阪の中心街を流れる大川や堂島川も何度か氾濫をおこした。そこで毛間の閘門は、市街に流れ込む水量を調節する役目も担っていたのである。明治29年に着手されたわが国最初の大河川事業で、水量調節の淀川改修工事の時に江戸時代の運搬船から転落した多くの残念石が引き上げられた。

毛間の閘門はそんな重要な役割をもった施設とはつゆほども知らず、言葉のひびきから、口にするのも恥ずかしかった幼い日の記憶がある。

肝心な時に役に立たなかった残念石ならば、その場で砕いて処分されていても仕方なかったものが、よくぞ長く保存されていて、今では歴史の生きた証人として立派な役割を果たしている。国宝級の遺産もさることながら、見捨てられそうな遺物にあらたな価値を発見する喜びはまた格別である。

そういえば、我が家にも長年保存している古い書物や資料がたくさんある。一昨年大学を定年退職した際、研究室から引きあげてきた書物や資料が加わり書斎はいま足の踏み入れ場もない状態で、残りはいまもガレージに山積みにしたままである。そのため、この2年間は整理に多くの時間を割いてきた。少し前頃から「断捨離」という言葉が注目を浴び、身の回りにある不用なものを思い切って捨て去り、すっきりした生活を楽しもうという提唱がもてはやされている。ようやく私も重い腰をあげ整理にとりかかったが、いざ書物や資料に目を通すと、「この資料は残しておけば、いつかきっと役に立つにちがいない」「貧乏な学生時代になけなしのお金をはたいて手にいれた本だ」の思いが先に立ち、つい女々しくいや男々（めめ）しくため込んでしまいなかなか捨て去ることができない。大阪城と毛間の閘門で残念石を目にしてからは一層そんな思いが強くなった。保管する空間にも限りがあり、「不用なものは捨ててはどうですか」と妻にせかされるが断捨離は一向にはかどらない。

整理整頓に関しては、とても彼女にかなわない。ずいぶん昔に妻に預かってもらっていた書類や持ち物でも、私が必要とするときには瞬時に目の前に差しだしてくれる神業をもっている。もし、整理学博士という学位があるならば、真っ先に私から授与したいと思っている。それにひきかえ私はといえば、小学校時代から明日の時間割に合わせて持ち物を準備することさえ面倒だったので、いつも全科目の教科書を詰め込んで、毎日重たいランドセルを背負って通学していた名残りで、今でも整理整頓は全く苦手である。必要な書類に限って山と積まれた資料に埋もれて見つからず、あたふたする毎日である。しかしながらどう考えてみても、大阪城や毛間の閘門にある残念石のように後世に残すほど価値のある物は私の書斎から出てきそうもない。そろそろ本気を出して不用なものはさっぱり捨て去り整理整頓しなければ、私自身が不用なものとして妻から見捨てられ断捨離の憂き目にあうかもしれない。

Panasonic
補聴器
ご相談は当店まで
ご自宅へ訪問も致します
気軽に使えるポケット型

おんわ モデルJ1シリーズ　希望小売価格 79,000円～
一般的名称：ポケット型補聴器　販売名：おんわ WH-103JJ
医療機器認証番号：220AIBZX00067000
オーダーメイド耳あな型や耳かけ型も取り扱っております
パナソニック補聴器
プラザ大阪
TEL: 06-6344-3348
FAX: 06-6344-3318
大阪駅前第４ビル 1F
●JR「大阪駅」より徒歩約６分
●JR 東西線「北新地駅」より徒歩約５分
●地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩約５分
●地下鉄谷町線「東梅田駅」より徒歩約３分
営業時間：午前10時～午後５時30分　定休日：日・祝日
詳しくは パナソニック補聴器 検索
補聴器は適切なフィッティング調整により、その効果が発揮されます。しかし、装用者の聞こえの状態によっては、その効果が異なる場合があります。
耳の健康を保つため、定期的な耳鼻咽喉科の受診をおすすめします。

野村證券　NOMURA

お申し込みは 0120-00-8657 野村コールセンター
【平日 8:40～20:00】【土日 9:00～17:00】（祝日・年末年始は除く）
＊ご利用の際には電話番号をお間違えのないようにご注意ください。
野村證券株式会社 梅田支店
〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4
TEL 06-6313-3431